



強くてやさしい安心社会をめざして

平成26年8月16日丹波市豪雨災害からの復興



復興の合言葉

心 つなぐ

兵庫県丹波市長 辻重五郎

目次

- I 丹波市の概要
 - II 平成26年8月16日丹波市豪雨災害
 - 1 災害のはじまりー気象状況
 - 2 雨量と災害の相関図
 - 3 被害状況
 - 4 災害時の動画
 - III 強くてやさしい安心社会をめざして
 - 1 自助
 - 2 共助
 - 3 そして、最大の減災効果は砂防えん堤、治山ダム
 - ①砂防えん堤
 - ②治山ダム
 - IV 都市と中山間地域の共存を揺ぎない国是に
- 謝辞

I 丹波市の概要



- 平成16年11月1日市政施行
- 面積493.21Km² 人口64,368人、22,934世帯(平成27年10月1日現在/「兵庫県推計人口」) 高齢化率30.6%
- 市域の75%、37,164haが森林
- 全国で最も長い歴史を持つ市島町の有機農業/天保11年から、国内での生薬生産の主力シェアを占める山南町の薬草薬樹/平成18年8月7日丹波竜化石(草食恐竜ティタノサウルス類)発見/本州一低い分水嶺

土砂災害警戒区域等指定 1,434箇所
(急傾斜・土石流・地すべり)

- ✓ 兵庫県下41市町中、神戸市2,211箇所、豊岡市1,770箇所に次いで丹波市は第3位の多さ(H27.7.18時点)
- ✓ 上位3市で県下土砂災害警戒区域等の41%を占める
- ✓ 兵庫県は全国第4位の区域等指定数
島根県31,377 山口県24,625 長野県20,972 兵庫県20,078(H26.2.28時点)

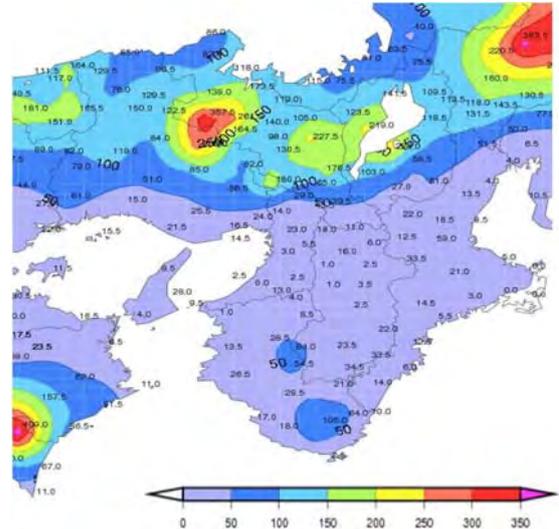
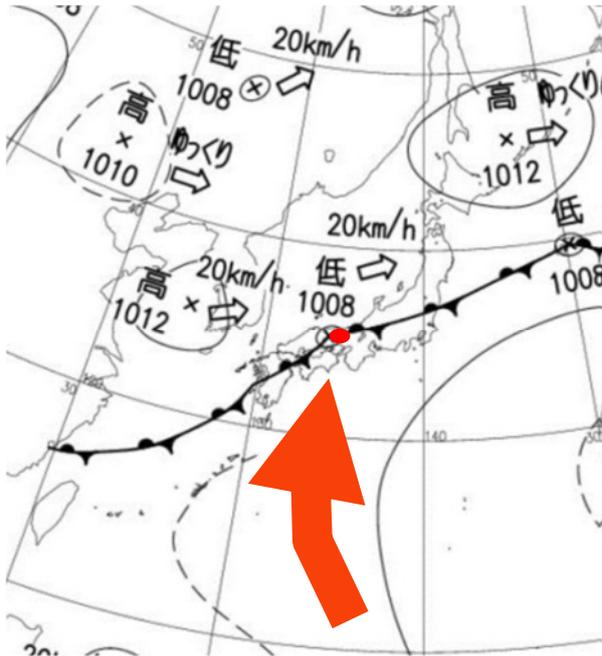
II 平成26年8月16日丹波市豪雨災害



- 1 災害のはじまりー気象状況
- 2 雨量と災害の相関図
- 3 被害状況
- 4 災害時の動画

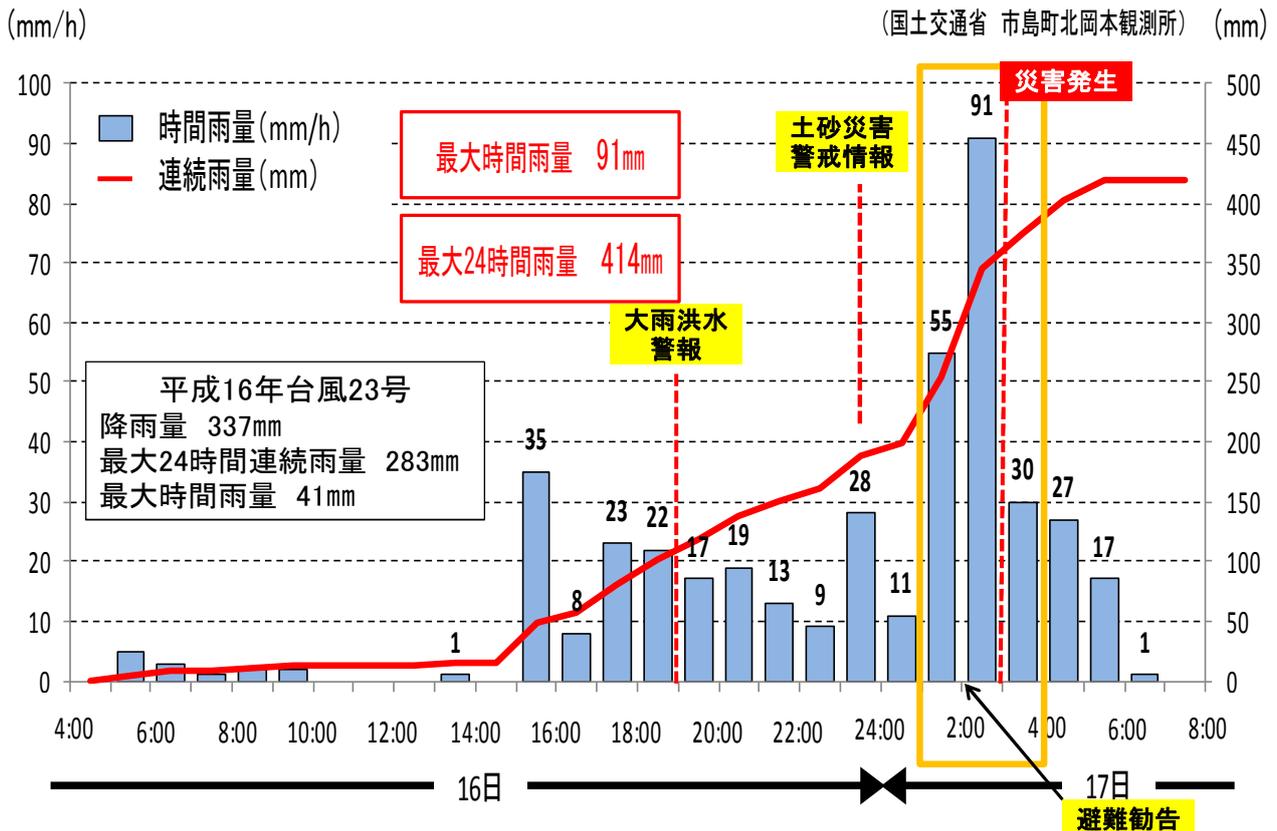
1 災害のはじまりー気象状況

平成26年8月15日から18日にかけて西日本に停滞する前線上を低気圧が東へ進行。また、南から暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、前線の活動が活発となり大気の状態が非常に不安定になったことで、兵庫県では北播磨丹波を中心に大雨となった。



8日15日02時～17日24時までのアメダス期間降水量

2 雨量と災害の相関図



3 被害状況

| 旧町名 | 死者 (負傷) | 住家被害 | | | | | | | 住家 以外 |
|-----|------------|------|-----------|----|----------|----------|----------|-------|----------|
| | | 全壊 | 大規模 半壊 | 半壊 | 一部 損壊 | 床上 浸水 | 床下 浸水 | 小計 | |
| 柏原 | | | | | | | 9 | 9 | 7 |
| 氷上 | (2) | | | 2 | | 35 | 307 | 344 | 515 |
| 青垣 | | | | | | | 14 | 14 | 34 |
| 春日 | (1) | | | 1 | 1 | 22 | 100 | 124 | 202 |
| 山南 | | | | | | | 3 | 3 | 12 |
| 市島 | 1 (1) | 18 | 9 | 39 | | 112 | 351 | 529 | 1,011 |
| 丹波市 | 1 (4) | 18 | 9 | 42 | 1 | 169 | 784 | 1,023 | 1,781 |

林地崩壊256箇所 道路崩落29件 河川崩壊78件 流失土砂50万^m
農林業被害：農地1,610筆 農業用施設805件 作付不能約400ha 林道21件
災害ゴミ3011トン（通年の2ヶ月相当） 電気・電話・上下水道の不通 道路通行止
橋梁崩壊 鉄道不通 公営住宅への一時入居最大44世帯123人

4 災害時の動画

平成26年8月17日早朝
丹波市市島町下鴨阪付近

Ⅲ 強くてやさしい安心社会をめざして



1 自助

丹波市の住民の避難行動は自身の判断、もしくは防災行政無線や避難の呼びかけを受けたことによる自宅二階以上への垂直避難が主であった。

自身の判断で早期から垂直避難した住民の中には、「雨の降り方が異常」、「山鳴りがした」、「土の臭いがした」、「出水が止まった」など、今まで体験したことがない豪雨と落雷に異変を感じた方もいた。

本件の豪雨時における避難行動において垂直避難をとった住民の割合が多かったのは、以前から浸水や河川氾濫といった水害への防災意識が高かったことや各地域の自治会長を中心とした近隣住民同士の避難の呼びかけが要因といえる。



2 共助

- 自治会長に限らず地域内の住民同士がお互いの名前や顔を知った間柄であったため、住民同士で避難を呼びかけやすい環境にあった
- 避難誘導や救助活動等の活動を阻害する土砂や流木による道路封鎖は、地域住民も自発的に撤去作業に取り掛かったことで17日の早朝から昼頃にかけて主要な道路は開通していた
- 公助頼りではなく、自分自身や自分が住む地域を守りたいという自助や共助の考えから自発的に地域住民が行動を起こしたことで円滑な防災対応行動が可能になった



ハザードマップづくり

近所付き合いが減災につながる
見守りボランティア等普段できているから災害時でもできる

5 として、最大の減災効果は砂防えん堤、治山ダム

平成28年8月16日丹波市豪雨災害
復旧・復興に向けた重点対策

- ①土砂・流木の流出防止
(砂防えん堤、治山ダムの重点整備)
- ②危険木処理対策及び災害緩衝林の造成
(災害に強い森づくり等)
- ③住宅の復旧・復興
(市による山裾の新たな住まい方の検討等)
- ④農地の復旧・復興
(流出土砂の活用等)
- ⑤甚大な被害のあった4地区を重点地区に設定
(道路、河川、治山、砂防、農地等を一体的に復旧・復興)



①砂防えん堤

丹波市内には、人家に影響のある土石流危険渓流が約600渓流あり、この内、80渓流に砂防えん堤を整備している。

今回の災害で、特に被害の多かった重点地区では、7箇所の砂防えん堤が流下してきた土砂や流木を捕捉したことにより、下流の人家約100戸への被害を軽減する効果を発揮した。

災害発生前



災害発生後



砂防えん堤が土砂・流木を抑止

②治山ダム

丹波市内には、土石流発生のおそれがある崩壊土砂危険地区が約270地区あり、この内、約190地区に治山ダムを設置している。

今回の災害で、特に被害の多かった重点地区では、2箇所の治山ダムが流下してきた土砂や流木を捕捉したことにより、下流の人家約70戸への被害を軽減する効果を発揮した。

災害発生前



災害発生後



約2,000m³の土砂を捕捉

IV 都市と中山間地域の共存を揺るぎない国是に

自然は複雑で、不可思議で、意外性に満ち、扱いにくい
自助、共助によりできうる二重三重の防御をしても
地域防災の防御レベルを格段に向上させるのは
公助（砂防えん堤、治山ダム）である

山と川が生態系として結びついているように
都市と中山間地域は結びついたもの

中山間地域の持つ多面的、公益的機能を重視し
都市と中山間地域の共存を揺るぎない国是に



謝辞

ご清聴
ありがとうございました



復興の合言葉

心 つなぐ